

静岡県漁業協同組合連合会  
1071 静岡市追手町 9-18  
15.12.5 ☎ 054-254-6011  
編集・発行 = 指導部漁政課

## 1. 平成15年度県漁業士認定委員会開催される

去る12月1日、本県漁業の中核的漁業者となり得る青年を青年漁業士、更に優秀な漁業経営を行い地域の漁業後継者の育成に役割りを果たしている者を指導漁業士として認定するための県漁業士認定委員会が漁業関係者、学識経験者及び県関係者が出席し県庁で開催されました。

その結果本年度は次のとおり、青年漁業士6名、指導漁業士7名が審査の結果承認されました。

青年漁業士 杉山喜規氏(静岡・船引き網)仁藤伸次氏(焼津・船引き網、刺網)鈴木健司氏(松崎・採介藻・刺網)佐藤和宏氏(仁科浜・一本釣)山田雅志氏(仁科浜・刺網)芹沢潤二氏(沼津我入道・一本釣)

指導漁業士 望月宏一氏(由比港・船引き網)原剛氏(船引き網、一本釣)森明弘氏(下田市・船引き網、引き網、突棒)山本安浩氏(下田市・一本釣、延縄)平松修氏(中遠養鰻・養鰻)和久田米喜氏(浜名・船引き網、底引き網)高嶋千春氏(沼津我入道・一本釣、地引網)

なお、認定式は明年2月2日静岡センチュリーホテルで執り行われます。

## 2. 県養鰻協会 養鰻研修会を開催 - 県養鰻協会 -

県養鰻協会(杉浦君和会長)では、去る11月26日浜名湖口イヤルホテル(雄踏町)において、養鰻業に関する技術の習得と知識の向上を図り、県内養鰻業者・養鰻漁業協同組合の経営維持安定と本県養鰻業の振興に資することを目的として、平成15年度養鰻研修会を養殖業者並びに漁協職員約70名が参加し開催しました。

研修会では杉浦君和会長(中遠養鰻漁協長)の挨拶のあと、研修に入り「アオサ粉末添加飼料によるウナギの飼育とウナギの品質に及ぼす影響について」及び、「生産履歴の必要性」と題し県水産試験場浜名湖分場主任研究員吉川昌之氏より講演が行われました。

引続き「生産履歴の開示の動きについて」と題し、(株)システムインテック システム開発部長橋本民雄氏より講演が行われました。

今回の研修会で、トレーサビリティシステムに関する知識の習得を図るとともに、県内産のウナギが安心・安全であることを広く市民及び関係業界にPRできるよう、養鰻業者が一丸となって同システム作りに取り組む認識を深めました。

## 3. キンメダイ・県内養殖ハマチ、マダイの魚食PR

静岡産業振興協会主催により、毎年開催されている「産業フェアしずおか2003」が去る11月29～30日の2日間静岡市内ツインメッセ静岡で市民約10万人が来場し盛大に開催されました。

本会では、本年6月に水銀問題が魚価等で大きな影響を受けた県内キンメ漁業を支援するため、風評被害特別対策事業(県補助)の一環として榛原地区キンメ一本釣組合とその

婦人の方の協力のもと、キンメダイの安全性と美味しさを広く一般市民にPRすることを目的としてキンメダイの煮つけの試食を行いました。

また、養殖生産物品質安全普及事業では、本県沼津及び網代地域で生産されるマダイ、ハマチの養殖魚の魚食普及を図るため、県かん水協会と強調し、来場者にこれらの養殖魚の刺身の試食を行い、本県産の養殖魚の美味しさや安全性のPRに努めました。

県養鰻協会でも同様に出席し本県特産のウナギの魚食普及と消費拡大を図るため、ウナギの販売促進車を会場内に設置し、ウナギの蒲焼、ウナギ弁当、ウナギの肝焼き、などを販売しました。更に本会で取扱いしているアジの開きなどの水産加工品を販売しました。

## 4. マグロの輸入が正規船の漁獲物のみを許可

大西洋マグロ類保存国際委員会(ICCAT)の採択を皮切りに、各海域の地域漁業管理機関で決議されたマグロ貿易のポジティブリスト(正規許可船)対策が平成15年11月14日から、日本で実施されることになりました。対象は輸入統計証明制度が導入されている冷凍のクロマグロ、メバチ、メカジキの3種類で、制度が実施された結果、資源管理の国際ルールを守る漁船が漁獲したマグロ以外のマグロは輸入できなくなりました。これは、IUU(違法・無報告・無規制)漁船の働きを封じ込める対策として実施されました。

ポジティブリスト対策は「国際資源管理機関の加盟国などの正規許可船以外の漁獲物の国際取引を規制する対策」です。この制度ではマグロを輸入する際に、従来の事前確認申請の必要書類に加えて、水産庁の「確認書」が必要になります。水産庁は、国際資源管理機関が公表したリストをもとに、正規許可船が漁獲したマグロか否かを判定し、確認書を発行します。

責任あるまぐろ漁業推進機構(OPRT)はポジティブリスト制度の実施に関連しOPRTのホームページ(URL://www.oprt.or.jp)に登録船のリストを掲載します。掲載した船については、輸入報告書における前船名および前船籍の報告が免除されることとなります。

## 5. 静岡県のなまり節生産量日本一

平成14年の全国カツオなまり節生産量は4300ト<sup>ン</sup>で、静岡県は3050ト<sup>ン</sup>で全国生産量の71%であることが農水省の調べで分かりました。

このうち、3枚におおしてゆでた亀節、いぶしをかけた若節を除く「本節」の生産量は焼津が全国の95%以上のシェアを占めると推定されます。出荷先は関東エリアが中心ですが、大阪、京都、和歌山など関西地区でも根強い人気があります。

原料は、遠洋一本釣船や海外旋網船が漁獲した冷凍魚が主流となっていて、近海の生カツオの陸上げ冷凍品にこだわる加工業者も増え、節のまま木箱に詰めて出荷するほか節やスライスの真空パックでの出荷も需要を伸ばしています。

## 6. 諸会議日程(12月9日(火)～12月22日(月)) - 既報分省略 -

12月12日(金) 県信漁連 = 平成15年度第6回理事会 (県水産会館)

12月16日(火) 県水産振興推進協議会 = 県議会水産議員陳情

12月17日(水) 県密漁防止対策協議会 = 密漁防止講習会 (浜名漁協)

12月19日(金) 県漁協経営改善対策協議会・県漁協合併推進協議会 (県水産会館)